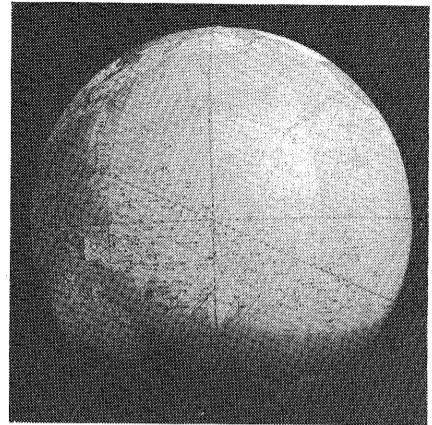


『かけがえのない地球』を守ろう

6月5日は「環境デー」



「かけがえのない地球」一広大な宇宙空間の中に浮ぶひとつつの地球—ここに人類が出現してから200万年、そして、われわれとほぼ同じ骨組みをもった人間（ホモ・サピエンス）が出てからわずか2万年。いまこそこの地球が確実に汚れつつあります。いまこそこの地球の現状をはつきり認識し、地球を守らなければなりません。

今や環境問題は、わが国のみならず、全世界的な問題としてますます深刻化しており、環境問題に対する一般的興味が高まっています。このような中で、みなさんご存知のとおり、昨年六月「国連人間環境会議」が初めて開かれました。そして、同十二月、第二十七回国連総会において、前記会議で採択された勧告を受け、六月五日を「世界環境デー」とすることが決議されました。毎年この日に環境問題に対する認識を深め、人間環境の保全に努める決意を再確認するため、世界的な活動を行なうとするものです。国では、「世界環境デー」の六月五日を初日とする「環境週間」を設けて、地方公共団体や関係各種団体、国民全体の力によって、公害の防止、自然環境の保護などを推進するため全国的な運動を開催しようとしています。

県でも、この趣旨にそって住みよい環境づくりを進めるため「環境月間」（五月二日から六月十一日まで）を設け、県下での期間中にいろんな事業を集中的に実施しています。

市でもいろんな行事の実施やこれら趣旨を市の施策全体に反映させるよう努めています。予定ですので、みなさんも、国、県、市、企業などの行なう講演会、行事、事業に積極的に参加され、環境に対する認識をさらに深め、それぞれの持ち場で、できる限りの理解と行動をしようではありませんか。「かけがえのない地球」「かけがえのない日本」「かけがえのない芦屋」を守り、より良くしていくために。

なお、下に「人間環境宣言」を掲げました。世界では、人類の違いや先進国、発展途上国などさまざまな異なる条件の下に生存するこの地球上において、「環境」問題がどう考えられているのかもういちど宣言を読みかえし、考えてみてはどうでしょうか。私たちがふつう考える環境問題に関する違いがあるならどこなのかをひとつひとつ比較してみると興味があるのではないかでしょうか。

（六月一日）

芦屋市は、阪神間にあって、六甲山を背にひかる緑の多い美しい都市ですが、都市化の波は、本市にも例外なく押し寄せてきており、この中に恵まれた芦屋を、さらに

長い間守る

こと

が

大切

な

こと

が

ある

こと